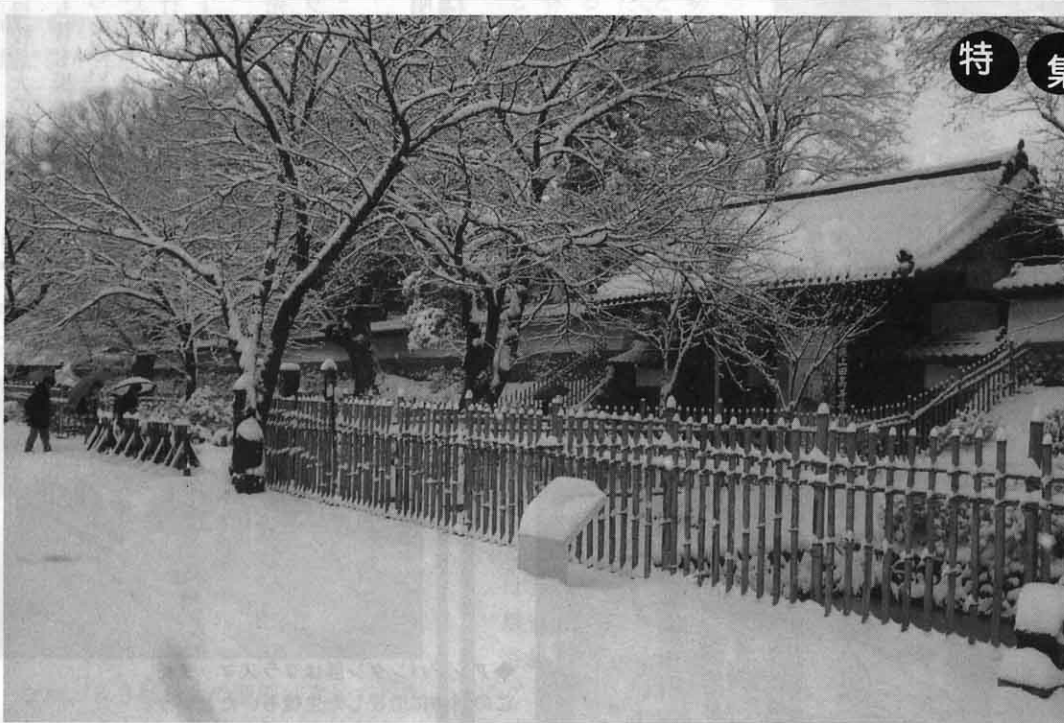


特 集 グ ラ フ イ テ イ

母校は

今



◆ 12月2日、母校をたずねて ◆



上田高等学校

雪が降った。剣道班とバレエ1班の生徒が自主的に雪をかいてくれた。陸上クラスの3人は、毎朝学校の回りを3周するというランニングをこの日も休むことはなかった。

自由な服装に身を包んだ生徒が次々に登校してくる。校門を入ると、中は鉄筋の校舎が並ぶ。昭和50年に始まった校舎の全面改築は、十年の月日をかけて完成した。

以前は門を入るとすぐ右側に体育館があった。今この体育館はげた履きの2階建てとなり、吹き抜けの1階は弓道場と雨天練習場になっている。そこで、サッカー班の生徒がボールを蹴り合っていた。

8時半、チャイムが鳴り、授業が始まった。今、クラスは40人で10組。昔は55人で8組だったので、教室が小さく感じられた。しかし黒板は、曲面黒板で、横からでも見やすくなっていた。

授業は60分授業だ。女性が2、3年で40%、今年の1年は45%になった。入学試験は男女別に募集するのでなく、男女平等に試験をした結果だそう。長いこと学区制がひかれているが、去年から、定員の最大10%まで学区外からの入学が認められた。今年、上限の36人がこの枠で入学した。小



諸や佐久、更埴などから、また来るようになってきている。以前からの進学校というイメージの他に、駅から数分で来られるという便利さも人気のもと。実際、クラブなどで遅くなると、車中心の地方では通学は一大事なのだ。

第三十九回松尾祭

松尾ルネサス

松尾祭は来年40回

母校最大のイベントは、今も昔も松尾祭だ。秋にやった思い出を持つ人が多いだろうが、今は7月中旬に行われる。ファイアーストームも今年久々に復活した。

だめ、四部が要求されるレベルの高さ。曲目も真面目で正統派。遊びに逃げないのがよい。楽しみに来る父親も多い。

来年は40回の記念大会となる。訪れた日の昼休み、来年の取り組みに関する構内アナウンスがあった。

「松尾祭実行委員長よりお知らせします。アンケートは・・・」

よく通る女性の声だった。



人気の
アンデパンダン展



◆アンデパンダン展はクラスマッチだ。この制作に徹夜した生徒もいたという。もともと、昔も松尾祭準備では徹夜した。寒くて、実験室の戸棚の中に入って寝た猛者もいた…。

生徒会・班活動

班活動はどうだろうか？

新聞班はとうとう一人になってしまった。新聞の発行も年1回になったようだ。

そのかわり、「マイコン」「漫画・アニメ」「ボランティア研究」など目新しい班もできている。マイコン班は高度なゲームソフトも作る。漫画・アニメ班は、高知で開かれた全国漫画選手権で優勝したという。時代を映すものと言えば、弦楽アンサンブルの班への昇格。英語班ではディベートが盛ん。棋道(囲碁・将棋)も強い。

文芸班の「松尾文芸」、生徒会の「松籟」の発行もまだ続いている。運動部では、テニス(硬・軟)、山岳(女子)、陸上(走り幅跳び)などが最近全国大会に出場した。

しかし、全体的な傾向としては、個人的な活動のものが中心になっているという。

松籟

43



長野県上田高等学校全日制生徒会

◆「松籟」

毎年3月に発行される生徒会の雑誌。1年間の学校生活の総括や松尾祭の研究発表が載っている。96年3月刊には郷土班の「上田・小県の戦争」、天文気象班の「気象光学・蜃気楼について」、生物班の「おじぎ草の研究」等の力作が目立っている。

◆「松尾文芸」

文芸班の作品が発表されている。今年の班員は2年2人、3年7人。全員女性だ。文芸班のOBには、この雑誌をずっと持ち続けている人がいる。青春の日の思索の結晶がそこにあるからだろう。

松尾文藝



TOY'S FACTORY

Imaginations are free and fun,
and excitements more wonderful and much greater.

“発想は自由に楽しく、そして感動は素敵に、より大きく”

- Mr. Children
- MY LITTLE LOVER
- SP eeD
- 酒井ミキオ
- EL-MALO
- SOPHIA
- Akiko
- cosa nostra
- cocobat
- Hi-STANDARD

株式会社トイズファクトリー
代表取締役 井出孝光(第61期)

第35回総会開かれる

上田高校関東同窓会の第35回総会が、6月29日、東京一ツ橋の如水会館で開かれた。

当日は晴天に恵まれ、出席者は、会員210名と新卒者13名、招待者19名の242名であった。

準備に当たったのは、44-4期、50期、54期、60期の皆さん。

懇親会の席上は、新卒者と母校の先生方、先輩が入り乱れての懇談。あっという間に時間がすぎた。

関東同窓会第35回総会



なお、39回総会の開催は次号でお知らせしますが、6月25(土)如水会館です。今からあけておきましょう。あなたの出席があるからこそ、来た人が喜ぶのです。

PTA初の懇談会

教育は時代と共に変わっている。母校では授業を参観した保護者と教師が意見を交換する教育懇談会を十月五日(土)に開いた。高校の授業というものは親もなかなか見たことがない。三百人近い保護者が参加し、午前中は授業参観、午後は懇談会に参加したという。

懇談会は、一、二、三年と学年ごとに30人ぐらいのグループに分かれ、そこに五、六人の先生がついて行われた。話題は勉強、クラブ、生活に及んだ。

先生からは「以前は、練習の合間に参考書を見る姿勢があった」と意見が出ると、「子どもはクラブでくたくたになって帰ってくる。一週間に一回くらいは休ませて」等の意見が出たという。

東山魁夷氏のリトグラフ寄贈される

日本画の重鎮、東山魁夷氏のリトグラフが今年母校に贈られた。リトグラフは、絵を忠実に石版で再現していくもの。石版は、二十数版にも及ぶ緻密な作業が必要とされる。魁夷氏のリトグラフは、森仁志氏(坂城町在住)がほと



んど手がけている。今年校長に赴任された細川修先生が、東山画伯とも懇意、また森氏が、母校の63期卒業生という縁で実現したものだ。今、校長室に飾られている。

太郎山は今日も元気だ!



母校から望む太郎山。頂上に社が見える。以前は、入学早々遠足が行われていたが、今は行われていないという。学校林は、今でもある。

被服室・調理室も登場



年輩の同窓生が「おや?」と思うのが、被服室や調理室があること。今や男女平等の社会。平成6年から1、2年生には必修なのだそう。



なつかしいと思ったのが、教室のストーブ。昔は石炭を燃やしていたが(昭和30年代)今は、石油だ。

石炭の頃は、放課後ストーブの火を落とし、水で洗ったものだったが。

しかし、全館暖房でないのがかわいそうにも感じた。

死角を生かす気ばりミラー
KOMY
コミー工業株式会社

代表取締役 小宮山 栄 (56期)

本社・工場 〒333 埼玉県川口市上青木西 4-1-8
TEL (048)268-5311 (代) FAX (048)268-5314

公認会計士 小林郷司事務所

公認会計士 小林 郷司 (40期)

〔事務所〕

〒101 東京都千代田区神田鍛冶町 3-3
共同ビル (新千代田)

☎ 03 (3252) 8801 (代表)

リレー随想

山登り

山本農夫彦 (53期)

◆上田市1中出身
京大・三菱信託銀行をへて現在菱信保証(株)

私は最近よく山へ行っている。月平均2〜3回で10年ほど前から始めたことであるが、年をとるに従って回数が増えていく。今や登山は百名山ブームから中高年が圧倒的に多い。考えてみると老後の健康管理の一助として歩くことが最も良いと思う。月に2〜3回のペースで山に登るためには普段から歩いていることが必要で、一日1万5千歩、時間にして最低1時間は歩くことにしている。

登山ができる背景として次のことが考えられる。まず健康であること。時間的、経済的に多少のゆとりがあること。自己の生活の周辺で心配事がないこと等が挙げられる。山登りは極めて危険が伴う運動であることから精神面のゆとりがないと事故につながる。すでに還暦を迎え、第二の会社生活も残すところ1年となってきた。健康の許す限りこのような生活を続けたいと思っている。

小生の会社の友人が先般某ゴルフ場で上田出身の方にオーバードライブされたこと口惜しがっていた。その人は藤家衛先輩(49期)のことであった。同じ北天神町出身でもあるので、次回は藤家先輩にタッチしたいと思います。

72期の皆さん、関さんに連絡を

堀内幹事長の呼びかけに応え、関 博明さんから以下のような趣旨の返事をいただきました。

72期の幹事を、同期の同意を得ていませんが、引き受けさせていただきます。上田高校バスケットボール班 関東支部と長野県四高校(上田・長野・深志・清陵)対抗戦の幹事も務めています。

勤務先・富士通複合システム統括部ビジネス推進部

☎ 5470-7620 FAX 5470-7628

住所・浦和市曲本 5-5-3-402 ☎ & FAX 048-839-3689

54期卒業生は、「54期会(こしき会)」と自称し、関東在住者と上田近傍在住者

を中心に毎年数回のゴルフコンペを行ってきたが、今年は卒業40周年という節目

54期
卒業40周年の集い



会員 短信

の年を迎えたので、9月15日に戸倉温泉にて記念の大集会を行った。

当日は天候にも恵まれて、午後6時開宴というのに2時過ぎから集まり始め、定刻には各地から参集した同期生は八十余名に達した。

関東地方から参加した三十余名は揃いのTシャツ姿で舞台に立ち、山辺俊二君の指揮のもとに見事披露し、郷里の同期生から喝采を得た。

また、上田在住の神林務君は若かりし日に立ち還ってハワイアンバンドを組んで登場し、特別参加の62期の松井由美さんと共に美音を会場に響かせ、これまた大好評だった。

翌日、観光組は信州の鎌倉めぐり、ゴルフ組は丸子町にてコンペを行った。前夜遅くまで飲み、唄い語り合った疲れものかは、来年還暦を迎える同期生は、秋の二日懐かしい仲間と一緒に堪能し、再会を約して家路についた。(倉島彰記)



▲格調高い合唱。なぜか、だんだん、幼い頃の歌に移っていったという…。

- ◆23期 芦沢守利氏
に勲一等瑞宝章
23期生の芦沢守利氏(京浜急行元社長・現顧問)が、平成8年度春の叙勲で、最高の荣誉である勲一等瑞宝章を受章した。関東同窓会の一人として心からお祝いを申し上げたい。
- ◆45期 掛川暉夫氏
九州より戻る
久留米大学名誉教授の掛川暉夫氏が横浜の自宅に戻り、関東同窓会の会員になった。慶応医学部卒で食道外科の分野では国際的な仕事をしている。現在国際医療福祉大学教授。病院は横浜にある。小諸市出身。故掛川徹也48期、康夫53期の長兄。
- ◆50期 児玉忠夫氏
わらべや日洋(株)常務取締役就任
- ◆52期 小山亮志氏
氏新聞に連載
11月11日より来年の5月まで、小説「悪童はどこへ消えた」を毎日小学生新聞に連載。昭和22年
- ◆52期 青柳位紗男氏
アサヒビル取締役を退任、新しくアサヒビル社史資料室に勤務している。青柳氏は関東同窓会の副会長でもある。
- ◆52期 石井正彦氏
文芸春秋社を定年退職し、同社社友になった。
- ◆55期 宮島光男氏
共同通信社常務理事に就任。
- ◆56期 横島庄治氏
大学教授に
NHK解説委員の横島氏は、私立高崎経済大学の教授に就任。4月から「都市経営」「環境リサイクル」などを担当する。NHKの部外解説委員として番組にはこれまで通り出演する。
- ◆58期 金井久氏
産経新聞社からFCG懇話会事務局長に就任。フジサンケイグループ会議事務局の仕事も兼ねる。

「会員短信」等のロゴデザインは、馬場雄二氏(54期)制作です。

会員短信の情報募集中!

転勤、転任、出版等自分に関するもの、友人の情報何でも可です。伝言板的、落書き板的にお使いください。送り先は、8ページの記事募集覧にあります。

56期「ゴロゴロ」と動き盛ん

「同窓会年齢」というのがあつたらしい。昭和33年卒の56期生も、卒業30周年に名簿が完備された頃から漸く集まりも盛んとなり、八組を筆頭にクラス会も定例化、昨年七月には56期が56歳になったゴロ合わせの記念に、上山田温泉に百名が結集旧交を温めた。

折しも、本会執行部への人材派遣、広告担当等、責任を負うべき年齢にも達している。この時にあたり、同窓会の発展と関東同窓会への協力体制を強化するため、新幹事会が十月十四日十二名の出席で日本教育会館で開かれた。

次なる目標の卒業40周年、母校創立百周年の行事参加な催が決まった。



同期生諸君！家で家でゴロゴロ、粗大ゴミ扱いされないよう、我等の原点「松尾」を再確認しつつ、第二の人生に向かつてエネルギーを充電しよう。

ゴルフ愛好者へ
関東と信州合同「56期ゴルフ懇親会」を春秋に開催しています。参加希望者は各クラス幹事に申し出を。

同期生交歓

61期生は「61ゴルフ同好会」というコンペを開催して親睦をはかっている。11月には第8回が丸子で開催された。関東から由井崇、井上剛も参加。上田高校のPTA会長を務めるといふ塚田正毅や宮島和雄、武井英子、飯塚五郎らの面々と久々に「御対面」。優勝は、五十嵐寿。幹事は美斉津幸経、松尾弘の両氏。賞品はほめられればあげたくなるという田中邦文が手配。センスが光っていた。

夜は、市内のこはまやに移って膝をくずして懇談。長野県バスケット連盟の理事長を務めるといふ荒井邦夫も参加。



こちらの夜の部は、関陸夫が圧勝した。ちなみに、こはまやは、毎月16日には誰かが必ず来ているという61期の巣なのだそう。そういう場所があるのはうらやましい限りだ。



今回は夏。関東の参加希望者は、由井崇か井上剛へ連絡を！

四八会総会三年ぶり

十一月十六日（土）信州上山田温泉のホテル雄山で四十八期の総会が開催された。卒業してから四十六年になるが二年毎の同期会は恩師の宮崎真、斎藤嘉郎両先生を囲んで六十名が参加した。卒業以来初めての者も加わり大勢の間が相集い、越し方やお互いの様子などを語り合つて夜の更けるのを忘れた。

- 東京地区からの参加者は次の通り。
- 相田俊一 浦田光雄
 - 尾山正徳 桐山博光
 - 倉島保夫 小林芳彦
 - 小林和夫 小山巖
 - 篠原泰司 清水貞吾
 - 高柳直樹 竜野雄
 - 西沢昇 島山寛
 - 堀内惇 松本守弘
 - 山崎延秋

松尾球友会

（球友会は野球部OBの会です）

十一月十五日東京ガス四谷クラブにおいて十名の出席を得て役員会を開催、役員改選などを協議、決定した。

- 一、役員改選
二、新年会について

現会長 54期有賀俊夫、副会長 54期中村至の続投が決定。新たに副会長を増員60期神津英明を選任、三人体制とした。

一、会員名簿について
56期神津進より新

転居・転勤 (敬称略)

- ▼武井厚 (51期) 〒183 府中市梅町3の48の17へ
- ▼西沢毅 (51期) 東京都職業能力開発協会は〒102 千代田区飯田橋3の10の3へ移転 5211・235
- ▼馬場武彦 (54期) 〒166 杉並区高円寺南5の25の8へ 3318・8007
- ▼伊藤典久 (55期) システム技研(株) システム運用部長に就任。自宅は、町田市鶴間1480の4 0427・99・2044
- ▼羽田啓吾 (62期) NHK前橋放送局 放送部へ。自宅〒371 前橋市元総社町157の1 D Sハイツ406号
- ▼田島善光 (62期) 江本工業(株) 中部支社へ(会員として引き続き在籍を希望します) 自宅上田市常田2の29の19 ラフォーレ・イケノ201号

★クラス幹事を増員しました★

- | | | | |
|---------|------|---------|-------|
| 1組：中村甲治 | 藤沢行雄 | 6組：小山莊司 | 新沼惇雄 |
| 2組：笹沢政道 | 久保田修 | 7組：北村徹男 | 小平節夫 |
| 3組：上原清治 | 柴田義人 | 8組：渡辺善国 | 河西邦彦 |
| 4組：平野武明 | 安田 明 | 若林克寿 | 大久保治夫 |
| 5組：小宮山栄 | 瀬下正利 | | |
| | 松井廣道 | | |

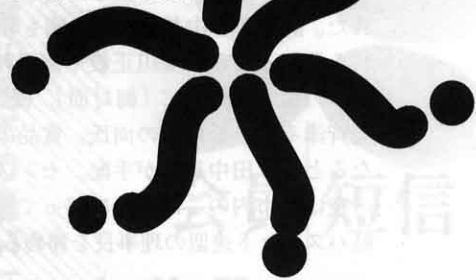


関東56期会・懇親会のご案内

平成9年2月21日(金) 18時～21時 日本教育会館で計画しています。詳細は、各クラス幹事より後日連絡します。大勢の参加をお待ちしています。

TOPICS

交差点



◆上田藩主の肖像、市に寄贈される

去る8月28日アサヒビル本部ビルにおいて、東京上田会の設立記念の集いが開かれた。その席上仙石家の初代上田城主仙石忠政公と夫人の肖像画が、上田市に贈呈された。

これは、関東同窓会前会長の山崎延秋氏が旧制上田中学時代、同級生に忠政公から十一代目の当主に当たる故中井信夫氏がおられた縁による。

中井氏は今年の夏亡くなられたが、その折り山崎前会長が中井夫人と色々お話しされた中で、東京上田会のこと話題になり決まったものだ。贈呈式にはご子息から二幅対の肖像画が市長に手渡された。

「上田中学時代、中井君は真田神社の内陣に招かれて上っていた。どうして彼が？と不思議に思っていたら、仙石



*仙石家は元和八年より45年間に上田藩を治めた。

家の末裔だったんだよ」と、山崎前会長は思い出を語る。(写真)

うえだ・人

紫綬褒章受章の現代詩の大家

47期 渋沢孝輔さん



真田町出身の47期生。「上田中学」時代最後の卒業生。在学中に終戦を体験。「通学は上田丸子電鉄で、わざわざ手前の川原柳駅で降りて、学校まで歩きました。軟弱を嫌ったからでしょう。電車の中でも男女席を同じゅうせず、男子は前、女子は後ろに固まっていました」

一、二年時は「数学と物理」の理系。勤労働員の三年時から「思春期の変調」を経て詩と小説の世界に。

「そして終戦。通学グループの女学生

とも仲良くなつてガリ版刷りの回覧雑誌なんかが出せる時代になりました。詩を書くようになった。詩を書くようになったんです」

大学は東京外語大学。兄の勧めもあって仏語科に籍をおく。中原中也や小林秀雄を虜にしたアルチュール・ランボーがそこにいた。

「私のスタートもそのあたり。以来、難解だと言われながらも、ずっと現代詩を書き続けてきました」

79年に「廻廊」で高見順賞。以後、80

年に「蒲原有明論」で亀井勝一郎賞、91年「啼鳥四季」で読売文学賞と続き、昨年は紫綬褒章を受章する荣誉。

「うまでもないことだが、詩作とは、人類数千年の営為を、連続と連なるその想いを、はたまた数億光年の宇宙の広がり、いくつもの単語、数行の文章に凝縮して表現する作業のこと。まことに神経の擦り減る仕事で、いきおいそれを業とする人の中には、寡黙で気難しい人が多い。が、わが「うえだ

人」は違った。時々にはかみながら、言葉遣いはあくまでやさしく丁寧。ごく常識的に、日常感覚の中で後輩に対応してくれた。

「真田の星空、上田の自然がやはり私の詩の原点でしょうね。窪田空穂さんではないですが、最近とみに「われはさすらいの信濃びと」という想いにたわわることが多くなりました」

都下国分寺に住んで三十年余。教授を務めている神田駿河台の明治大学には週二日講義に出掛ける。

58期山岸宜公氏 故郷で指揮

58期卒で音楽家の山岸宜公氏（横浜市在住）が11月4日上田市市民会館で、東京交響楽団を指揮して演奏会を開いた。

市民会館いっぱいの千人の聴衆がつめかけ、大きな拍手で迎えられた山岸氏はステージから笑顔で一礼。シューベルトの「ロザムンデ序曲」ピアニストの花房晴美さんが加わってグリークの「ピアノ協奏曲イ短調」ブラームスの「交響曲第一番」を熱演した。

山岸氏は、下塩尻の出身。東京芸大でチェロを専攻、卒業後イスラエルフィル等に入団、チェリストとして活躍した。帰国後は日本フィルに首席チェロ奏者として入団。以後東京オーケストラ合奏団を組織、同楽団や東京交響楽団などの指揮もしている。指揮はズビン・メータ氏等に師事した。

97年4月13日に、東京フォオラムホールで、千代田区交響楽団創立20周年記念コンサートを指揮する。

85期峯村操氏、東京で三度目のピアノリサイタル

85期の卒業生、峯村操さんが12月5日浜離宮朝日ホールでピアノリサイタルを開いた。曲目は、モーツァルトのソナタやシューベルトの即興曲、バルトークの舞踊組曲等。

峯村さんは、東京芸大を経てベルリン芸術大学に留学。88年同大を最優秀で卒業。現在、ソロや室内楽の演奏活動をしている。

（文教大学教育学部専任講師）

出版しました

53期小泉勝夫氏 カイコの知識後世に

かつては長野県をはじめ至る所で盛んであった養蚕だが、今カイコの飼いや絹糸、桑などの知識を持つている人は、貴重な存在となつてしまった。このまま放つて置くとカイコに関する知識は消滅してしまう、という危機感を感じた小泉勝夫氏が、この度「蚕糸の知識と活用」という本を自費出版した。カイコの生態と飼育法、製糸・染色業の話等、順を追ってカイコとその周辺を解説している。

小泉氏は信州大学繊維学部出身で、現在神奈川県農業総合研究所蚕糸検査場長と、一貫してカイコに取り組んできたカイコのムシ。それだけにカイコに関する蘊蓄が随所に盛り込まれ、楽しい本になっている。

1冊900円
問い合わせは小泉氏へ
(0462-331-2821)

年会費納入者氏名

平成8年4月1日～11月15日迄に納入くださった方々です。
 (11月16日以降の方は次号に載ります)
 氏名の後の数字は、複数年分の会費を納入している方が何年まで納入されているかを示しています。

21期 緑川 利幸 12	41期 金沢 光男 16	香掛 元砥 14	久保 利夫 10	柳沢 正人 10	掛川 一彦 8	宮島 光男 8	宮島 英紀 17
28期 小林 清次 8	甲田 睿 11	斎藤 正敏 12	清水 茂雄 9	柳沢 洋一 8	掛川 康夫 7	56期 岩下 宏 8	由井 崇 11
小山陽太郎 9	古松 彰 12	桜木 浩吉 10	滝沢 茂夫 9	51期 池田 義雄 8	小林 乾泰 8	上原 清治 9	62期 秋田 勇 13
吉田 為雄 8	宮下 俊夫 11	佐藤 一郎 7	滝沢 侑三 9	池田 義雄 8	須田 武久 8	内海 章緒 11	浅井 保雄 8
29期 岩下美千穂 16	42期 岩下 実 18	城下 利雄 17	田村 和男 8	上原 隆雄 20	高木 快雄 11	大久保治夫 12	小川 朝行 8
丸山 仁志 8	西澤 祥平 12	田守 正雄 16	土屋 正 8	小胎 治雄 8	高野 政晴 8	笠原 征夫 13	市村 光志 9
30期 宮本 武 11	馬場 善一 8	西野入利生 11	鎌野 秀嗣 8	清水 順 11	鍋島 堅造 6	竹内 仁 8	岩井 重一 15
朝倉 保平 7	山岸 五郎 12	花岡 潔 8	武井 厚 8	半田 義昭 11	原春 夫 9	中村 勉 12	桑田 博章 7
32期 横山誠之助 11	山岸 繁広 9	堀内 寅次 8	中沢 良行 8	堀内 忠久 11	堀内 福 12	成田 邦夫 9	児玉 一江 7
池島 雄三 9	若林 広一 6	牧内 泰道 19	中島 宏 11	堀内 正智 8	浜村 浩史 8	西島 幹夫 6	佐藤 澄江 17
43期 上野 敏雄 13	相田 俊一 8	丸山 博 12	成沢 誠司 18	堀内 悦夫 8	松井 廣通 12	西沢 邦宣 8	63期 林 壮治 13
44-5期 石井 克己 8	浦田 光男 12	宮坂 亨 8	村田 寛 9	山崎 達夫 12	翠川 和彦 8	安田 明 8	64期 柳沢 安信 10
33期 北沢 守 12	小林 芳彦 9	山岸 光臣 11	青木 功 16	54期 有賀 俊雄 9	57期 飯島 辰夫 8	中西 載慶 8	65期 横関 洋一 10
34期 神田 精夫 13	坂梨 港 8	五十嵐明迪 8	大塚 恒雄 8	掛川 久 9	清水 康弘 9	小森 幸則 8	66期 田口 博 10
工藤 善正 9	佐藤 尚 9	石井 敬二 7	掛川 正司 12	倉島 彰 10	高山三千夫 8	竹内 昭 11	67期 岩崎 章 7
清水 宣人 13	清水 貞吾 9	井出 藤寿 10	金子政五郎 9	川嶋 慎 9	小市 則夫 7	西尾紀一郎 8	山本 修士 8
高見沢 正 11	竹内 一夫 11	伊藤 澄夫 9	上原 健一 8	河野 政人 11	小堺 一雄 9	前田由美子 9	69期 寺内 政利 8
44-4期 金子 健 17	田原 敬 9	小田中益栄 9	尾和 堅一 9	小林 盛男 9	小山 亮志 17	関 正勝 17	古畑 克己 11
35期 大井 卓雄 13	中沢 利雄 6	尾和 堅一 9	工藤 俊夫 11	佐々木淳二 21	千村 一平 8	中村 一彦 9	宮沢 廣 7
滝沢 正 17	中村 哲治 9	久保田 滋 8	久保田 襄 8	須藤 尚彦 8	中村 一彦 9	馬場 武彦 9	70期 高橋 和江 7
中山 順蔵 10	中村 哲治 9	久保田 襄 8	久保田 襄 8	瀨川 直佑 8	松井 平三 14	金子 親碩 11	72期 北沢 彰 16
柳沢 義房 8	中村 哲治 9	久保田 襄 8	久保田 襄 8	瀨川 直佑 8	松井 平三 14	金子 親碩 11	80期 鈴木 巳季 7
36期 小林 正登 10	中村 哲治 9	久保田 襄 8	久保田 襄 8	瀨川 直佑 8	松井 平三 14	金子 親碩 11	(以上340名)
37期 新井 邦夫 12	中村 哲治 9	久保田 襄 8	久保田 襄 8	瀨川 直佑 8	松井 平三 14	金子 親碩 11	
38期 清水 幾男 10	中村 哲治 9	久保田 襄 8	久保田 襄 8	瀨川 直佑 8	松井 平三 14	金子 親碩 11	
39期 阿部 博 11	中村 哲治 9	久保田 襄 8	久保田 襄 8	瀨川 直佑 8	松井 平三 14	金子 親碩 11	
40期 小林 郷司 9	中村 哲治 9	久保田 襄 8	久保田 襄 8	瀨川 直佑 8	松井 平三 14	金子 親碩 11	
41期 丸山 英一 19	中村 哲治 9	久保田 襄 8	久保田 襄 8	瀨川 直佑 8	松井 平三 14	金子 親碩 11	
42期 吉田 光輝 10	中村 哲治 9	久保田 襄 8	久保田 襄 8	瀨川 直佑 8	松井 平三 14	金子 親碩 11	
43期 渡辺 久夫 12	中村 哲治 9	久保田 襄 8	久保田 襄 8	瀨川 直佑 8	松井 平三 14	金子 親碩 11	
44期 宮沢 武夫 10	中村 哲治 9	久保田 襄 8	久保田 襄 8	瀨川 直佑 8	松井 平三 14	金子 親碩 11	
45期 宮沢 武夫 10	中村 哲治 9	久保田 襄 8	久保田 襄 8	瀨川 直佑 8	松井 平三 14	金子 親碩 11	
46期 宮沢 武夫 10	中村 哲治 9	久保田 襄 8	久保田 襄 8	瀨川 直佑 8	松井 平三 14	金子 親碩 11	
47期 宮沢 武夫 10	中村 哲治 9	久保田 襄 8	久保田 襄 8	瀨川 直佑 8	松井 平三 14	金子 親碩 11	
48期 宮沢 武夫 10	中村 哲治 9	久保田 襄 8	久保田 襄 8	瀨川 直佑 8	松井 平三 14	金子 親碩 11	
49期 宮沢 武夫 10	中村 哲治 9	久保田 襄 8	久保田 襄 8	瀨川 直佑 8	松井 平三 14	金子 親碩 11	
50期 宮沢 武夫 10	中村 哲治 9	久保田 襄 8	久保田 襄 8	瀨川 直佑 8	松井 平三 14	金子 親碩 11	
51期 宮沢 武夫 10	中村 哲治 9	久保田 襄 8	久保田 襄 8	瀨川 直佑 8	松井 平三 14	金子 親碩 11	
52期 宮沢 武夫 10	中村 哲治 9	久保田 襄 8	久保田 襄 8	瀨川 直佑 8	松井 平三 14	金子 親碩 11	
53期 宮沢 武夫 10	中村 哲治 9	久保田 襄 8	久保田 襄 8	瀨川 直佑 8	松井 平三 14	金子 親碩 11	
54期 宮沢 武夫 10	中村 哲治 9	久保田 襄 8	久保田 襄 8	瀨川 直佑 8	松井 平三 14	金子 親碩 11	
55期 宮沢 武夫 10	中村 哲治 9	久保田 襄 8	久保田 襄 8	瀨川 直佑 8	松井 平三 14	金子 親碩 11	
56期 宮沢 武夫 10	中村 哲治 9	久保田 襄 8	久保田 襄 8	瀨川 直佑 8	松井 平三 14	金子 親碩 11	
57期 宮沢 武夫 10	中村 哲治 9	久保田 襄 8	久保田 襄 8	瀨川 直佑 8	松井 平三 14	金子 親碩 11	
58期 宮沢 武夫 10	中村 哲治 9	久保田 襄 8	久保田 襄 8	瀨川 直佑 8	松井 平三 14	金子 親碩 11	
59期 宮沢 武夫 10	中村 哲治 9	久保田 襄 8	久保田 襄 8	瀨川 直佑 8	松井 平三 14	金子 親碩 11	
60期 宮沢 武夫 10	中村 哲治 9	久保田 襄 8	久保田 襄 8	瀨川 直佑 8	松井 平三 14	金子 親碩 11	
61期 宮沢 武夫 10	中村 哲治 9	久保田 襄 8	久保田 襄 8	瀨川 直佑 8	松井 平三 14	金子 親碩 11	
62期 宮沢 武夫 10	中村 哲治 9	久保田 襄 8	久保田 襄 8	瀨川 直佑 8	松井 平三 14	金子 親碩 11	
63期 宮沢 武夫 10	中村 哲治 9	久保田 襄 8	久保田 襄 8	瀨川 直佑 8	松井 平三 14	金子 親碩 11	
64期 宮沢 武夫 10	中村 哲治 9	久保田 襄 8	久保田 襄 8	瀨川 直佑 8	松井 平三 14	金子 親碩 11	
65期 宮沢 武夫 10	中村 哲治 9	久保田 襄 8	久保田 襄 8	瀨川 直佑 8	松井 平三 14	金子 親碩 11	
66期 宮沢 武夫 10	中村 哲治 9	久保田 襄 8	久保田 襄 8	瀨川 直佑 8	松井 平三 14	金子 親碩 11	
67期 宮沢 武夫 10	中村 哲治 9	久保田 襄 8	久保田 襄 8	瀨川 直佑 8	松井 平三 14	金子 親碩 11	
68期 宮沢 武夫 10	中村 哲治 9	久保田 襄 8	久保田 襄 8	瀨川 直佑 8	松井 平三 14	金子 親碩 11	
69期 宮沢 武夫 10	中村 哲治 9	久保田 襄 8	久保田 襄 8	瀨川 直佑 8	松井 平三 14	金子 親碩 11	
70期 宮沢 武夫 10	中村 哲治 9	久保田 襄 8	久保田 襄 8	瀨川 直佑 8	松井 平三 14	金子 親碩 11	
71期 宮沢 武夫 10	中村 哲治 9	久保田 襄 8	久保田 襄 8	瀨川 直佑 8	松井 平三 14	金子 親碩 11	
72期 宮沢 武夫 10	中村 哲治 9	久保田 襄 8	久保田 襄 8	瀨川 直佑 8	松井 平三 14	金子 親碩 11	
73期 宮沢 武夫 10	中村 哲治 9	久保田 襄 8	久保田 襄 8	瀨川 直佑 8	松井 平三 14	金子 親碩 11	
74期 宮沢 武夫 10	中村 哲治 9	久保田 襄 8	久保田 襄 8	瀨川 直佑 8	松井 平三 14	金子 親碩 11	
75期 宮沢 武夫 10	中村 哲治 9	久保田 襄 8	久保田 襄 8	瀨川 直佑 8	松井 平三 14	金子 親碩 11	
76期 宮沢 武夫 10	中村 哲治 9	久保田 襄 8	久保田 襄 8	瀨川 直佑 8	松井 平三 14	金子 親碩 11	
77期 宮沢 武夫 10	中村 哲治 9	久保田 襄 8	久保田 襄 8	瀨川 直佑 8	松井 平三 14	金子 親碩 11	
78期 宮沢 武夫 10	中村 哲治 9	久保田 襄 8	久保田 襄 8	瀨川 直佑 8	松井 平三 14	金子 親碩 11	
79期 宮沢 武夫 10	中村 哲治 9	久保田 襄 8	久保田 襄 8	瀨川 直佑 8	松井 平三 14	金子 親碩 11	
80期 宮沢 武夫 10	中村 哲治 9	久保田 襄 8	久保田 襄 8	瀨川 直佑 8	松井 平三 14	金子 親碩 11	

運営基金拠金者

31期	土屋 学	1万円
45期	掛川暉夫	1万円
51期	上原隆雄	1万円
52期	小山亮志	2万円
64期	中西載慶	1万円
(基金累計724万円)		

年会費未納
の会員に
お願い!

関東同窓会の活性化と発展のために
年会費の納入にご協力を!

同封の振替用紙を
ご利用ください

◆◆お願い◆◆

総会を担当する期が決まりました

年に1回開かれている総会は、任意の期で準備をしてきましたが、今後は、卒業何周年という節目の期が担当することになりました。担当期の幹事の皆さんは、会員への周知徹底と事前準備をお願いします。

	第36回 (来年)	第37回 (再来年)	第38回 (平成11年)
卒業45周年 (63歳)	50期	51期	52期
卒業40周年 (58歳)	55期	56期	57期
卒業35周年 (53歳)	60期	61期	62期
卒業30周年 (48歳)	65期	66期	67期

会員名簿の整備

より緊密な連携を保つため、名簿の整備を進めています。移動、変更等の情報を積極的にお寄せください。クラス幹事を通じてでも、直接でもかまいません。尚、会費振り込み時に通信欄に「変更」と添えていただくと助かります。今後はその都度名簿のメンテナンスを行い、精度の高さも維持していきます。

母校への貢献

母校へささやかでも貢献できたらということで、母校へOBの著作を贈ることにしました。自薦、他薦でかまいませんので、情報をお寄せください。(事務局まで)

このほか、色々な特集のアイデアを考えたいと思っています。企画の提案がありましたらお寄せください。

編集委員 井上 剛 61
編集委員 小山 莊司 56
編集委員 小林 秀芳 60

今号は、「母校は今」という特集を企画しました。次号は、「ヤング会員特集」として、卒業して関東に出てきたばかりの大学生や就職したばかりの社会人の座談会を企画しています。

この会報は、各期の幹事を中心に「会報フォーラム」という会を開き、そこで内容の検討を行っています。記事の投稿や、このフォーラムへの提言等、皆さまの自由な参加を期待していますので、上記「記事募集」の連絡先にご一報いただけますようお願い申し上げます。

今号から、版形をハッピーなものに改めました。内容も会員情報と母校の情報の収集に努め、会報が同窓生の交流の場として役立つようにと考えましたが、いかがでしたでしょうか。

編集後記

事務局からの

お知らせ & お願い

事務局日誌

- 平成8年
- ▼5・29 会報55号校正
- ▼6・8 第35回総会実行委員会(委員17名、執行部11名)
- ▼6・23 総会実行委員会第2回打ち合わせ会(委員6名、執行部6名)
- ▼6・26 会計事務引継(高木・小胎新旧会計長他)
- ▼6・29 第35回総会(出席者241名)
- ▼7・6 第35回総会反省会(各期幹事19名、執行部11名)
- ▼7・22 第1回執行委員会(執行部16名)
- ▼9・7 第1回幹事会(各期・各会幹事22名、執行部10名)
- ▼10・19 56号会報フォーラム(各期幹事9名、執行部10名)
- ▼12・10 相談役会(小林、横山、山崎相談役他執行部)
- ▼この他、上田染谷ヶ丘高校、野沢南高校、上田千曲高校の東京支部総会、及び上田高校長野支部、関西支部、本部同窓会の総会に代表が出席しました。

記事募集

▼会員短情報の覧やトピックスに載せる記事を募集しています。あなたが最近やっている仕事、同窓生の情報、出版した本、等何でもいいです。伝言板的に、また落書き板的に使っていただければと考えています。沢山の投稿を期待しています。

▼送り先 〒247 鎌倉市今泉台7-24・5 井上 剛
または表紙にある事務局へ。

祝!
会報
56号

55期

- 1組: 関東在住者一同
- 2組: 秋葉光広・柴崎満彦・西牧博徳
羽田 宏・間島 巖・松尾 裕
宮入健二郎・宮崎利夫・笈正博
小平勝夫・馬場俊造
- 3組: 杉原積雄・内堀真通彦・樋口武夫・小宮山忠彦・和田 守・土屋 務
- 4組: 横山瑛一・上原 尚・木村和幸
児平徳郎・清水好昭
- 5組: 長峯道明・鶴見貞夫・片岡恒夫
清水 明・滝沢克彦・竜野慶和
- 6組: 宮島光夫・飯島 倉見英一
塚田忠夫
- 7組: 樫野達彦・滝沢哲三・小山治卓
羽田忠彦・町島正敏
- 8組: 有志代表 遠山武彦

55期卒業40周年記念大会開催

平成9年10月10日(金) ホテルニューオータニで計画しています。

55期代表幹事 堀内良幸
関東同窓会副幹事長 伊藤典久